

平成24年度 第2回青森市民図書館協議会 会議概要

- 1 日 時 平成25年3月18日(月) 午後3時～午後5時
- 2 場 所 青森市民図書館8階会議室2
- 3 出席委員 小笠原秀樹、大友栄子 佐々木敦子、大坂美保、三浦美佐子 石郷岡智
- 4 欠席委員 澁谷眞美子 奥崎信人、平野美奈子、野崎直久
- 5 事務局出席職員 館長 田中聡子、主幹 竹谷圭司、主幹 村上泰子、主幹 鈴木謙一郎、
主事 葛西美由紀
- 6 第2回図書館協議会
 - (1) 開会
 - (2) 会長あいさつ
 - (3) 協議事項
 - ・平成25年度の市民図書館運営について
 - ・青森市子ども読書活動推進計画第二次計画の進捗状況について
 - (4) その他
 - (5) 閉会

7 会議の概要（発言の要旨）

協議事項 平成25年度の市民図書館運営について事務局より説明

質疑応答

主な質疑応答は以下のとおり

（委員）

資料収集を強化するにあたり市民要望をどのように反映させていくのか。

（事務局）

利用者からのリクエスト、図書館間での相互貸借などのサービスにより利用者ニーズを把握していく。

（委員）

あらゆる媒体からの出版情報を活用して収集しようとする資料はどのような資料か。

（事務局）

地域での出版物、個人出版物など書店売りされない資料、行政資料などである。

（委員）

医学分野、建築分野など高額で市民が自費で購入できないような図書もあるが図書館が購入する資料の金額に上限はあるのか

（事務局）

金額の上限は決めていないが、購入図書の利用頻度により、県立図書館、大学図書館などが蔵書しているものなどは相互貸借などにより資料を準備している。

(委員)

中学校への貸出はどの程度行なわれているのか

(事務局)

浪岡中学校と浪打中学校へ貸出を行なっている

意見

- ・市内には様々な図書館があり、市民の要望に応えるには、専門性高い図書館と連携しながら効果的な資料収集を行なっていただきたい。
- ・NPOなどが作成する調査報告資料なども含め、問口を広く収集していただきたい。

協議事項 ・青森市子ども読書活動推進計画第二次計画の進捗状況について事務局より説明

質疑応答

主な質疑応答は以下のとおり

(委員)

中学校の学校図書館における貸出冊数の目標について、小学校に比べて目標値が低い理由は何か。

(事務局)

計画策定時における実績から目標とする伸び率を見込んで設定した目標である。

(委員)

中学校における図書の貸出目標の設定について各学校へ周知しているのか。

(事務局)

計画は各学校へ配付している。特に図書館が各校に説明するということはしていない。

(委員)

団体貸出について利用団体の数は把握しているのか。

(事務局)

特定の利用団体の登録制ではなく、団体からの申込により団体貸出をおこなっている。

意見

- ・子ども読書活動推進計画第二次計画の目標値について、学校に関わる目標については学校と意識を共有していく必要がある。
- ・団体へ向けた特別貸出制度について、制度の周知を図る必要がある。

その他

(事務局)

- ・子ども読書推進計画に示す目標値について、教育委員会事務局指導課との連携を図りながら学校と目標値の共有化を図りたい。
- ・団体貸出制度について利用の促進を図るため、あらゆる機会を捕らえて周知に努めたい。

報 告

事務局より

- ・蔵書点検の実施状況について
 - ・夏休み・冬休みの開館時間延長実施について
 - ・平成25年度から市民図書館内の全面禁煙について
- について報告して会議を終了